



■ H22(2010)年11月24日

鶴見川水系でアユの仔魚を確認

平成22年11月11日、鶴見川支流早湊川において、流下中の大量のアユ仔魚が確認されました。14日には同所において、多数の産着卵も確認することができました。

鶴見川では近年、産卵直後のアユが捕獲され、産卵・仔魚流下も予想されていましたが、仔魚が確認されたのは2000年に鶴見川亀の甲橋で横浜市環境研究所の発見に次ぐものと思われます。

大量の仔魚の流下は、鶴見川における水質や環境の回復を象徴しています。

今回の発見と確認は、国土交通省京浜河川事務所によるアユの遡上・繁殖にかかわる情報収集の一環として、県の許可を得てNPO法人鶴見川流域ネットワークが自主調査したものです。



(流下中の仔魚は全長約7mm)
